

平成23年度 第1回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成23年4月26日(火) 13:30~15:30
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 9名(欠席2名)
事務局 中央公民館長、館長補佐、分館主査 10名
- 4 傍聴者 0名
- 5 配布資料 (1) 平成23年4月1日付人事異動・・・・・・・・・・資料1
(2) 平成23年度公民館関係予算(歳入・歳出)・・・・・・・・・・資料2
(3) 小平市教育委員会の教育目標・・・・・・・・・・資料3
(4) 平成23年度小平市立公民館事業計画・・・・・・・・・・資料4-1
(5) 平成23年度公民館定期講座一覧表・・・・・・・・・・資料4-2
(6) 仲町公民館・図書館改築に伴う基本設計の説明会・・・・・・・・資料5-1
(7) 3月12日の説明会における仲町公民館・仲町図書館改築に伴う仲町
公民館・仲町図書館改築に伴う基本設計への意見・要望のまとめ・・・
資料5-2
(8) 平成23年度公民館運営審議会計画表・・・・・・・・・・資料6
(9) 平成23年度東京都公民館連絡協議会定期総会議案書・・・・・・・・資料7
- 6 次第 (1) 開会
(2) 配布資料の確認
(3) 館長報告
(4) 公民館まつりについて
(5) 平成23年度定期講座について〈各館の詳細〉(資料4-2)
(6) 仲町公民館・図書館改築に伴う基本設計の説明について(資料5-1、
5-2)
(7) 平成23年度公民館運営審議会日程について(資料6)
(8) 平成23年度東京都公民館連絡協議会定期総会の出席について
(9) 平成23年度東京都公民館連絡協議会 第1回委員部会運営委員会
の出席について

(1 0) 第 52 回関東甲信越静公民館研究大会茨城大会

(1 1) 閉会

会議の概要

1 開会

2 配布資料の確認

3 館長報告

(1) 東日本大震災の対応について

3月11日の地震発生以降の動きについて、以下のように報告した。

公民館では、特に、人的、物的被害はなかった。当日は大きな余震もあったが、施設利用者に対する屋外への避難誘導や、館内放送は、概ね適切に対応した。

その後の計画停電により、3月15日から18日まで、開館時間を9時から17時までとした。さらに、19日から31日までは、節電及び職員の緊急応援体制を組むため、全館休館とした。その後、4月15日まで、開館時間を再び、9時から17時とし、翌16日からは通常開館とした。

休館等の対応として、予約団体に対しては、一件一件丁寧に説明し、利用取り消しや変更等をお願いした。あわせて、公民館運営審議会、利用者懇談会、友の会に連絡した。

今回の震災等における公民館の対応においては、2月16日に実施した「自衛消防訓練」の成果を活かすことができた。引き続き、具体的に火災と地震を想定した訓練の実施を行い、公民館を安全、安心にご利用いただけるよう努める。

(2) 平成23年度予算について

資料2により説明

- ・報償費削減
- ・エレベータ保守点検委託の効率化
- ・高齢者、障がい者にやさしい備品等の整理
- ・花小金井南公民館30周年事業

を念頭に計上した。

(3) 小平市教育委員会の教育目標について

資料3により説明

- ・前年度からの変更点

① 「学習・文化活動の振興」

- 「視聴覚教育の拡充」→「実施」
- ② 「学習・文化施設の整備・充実」
「仲町公民館・図書館の建替え（実施設計）」
- ③ 「青少年のための事業の促進」
「土曜子ども広場友・遊の実施」→「ジュニア講座の実施」を追加

(4) 平成 23 年度小平市立公民館事業計画及び、定期講座について
資料 4-1、4-2 により説明

行政評価や事業仕分けの結果を踏まえ、事業を現状分析した上で、内容を工夫しコストを抑えながら、魅力的な事業運営に努める。また、広くアピールできるように、PR 方法、特に HP を工夫改善する。

・資料 4-1「推進施策」における前年度からの変更点

No.2 「講座企画会議」→「公民館講座のための意見交換会」

平成 23 年度開催講座の半分以上は、昨年実施した会議の中で市民の方からいただいた意見を何らかの形で反映した。

No.14 仲町公民館建替え

基本設計→実施設計

平成 24 年度に行われる本体工事等の事前準備を行う。

No.15 「第 2 次改革推進プログラム」の中で、「公民館のあり方」について検討を行う。今後、施設に求められる役割、機能及びサービス内容を研究して、管理運営方法について検討する。

講座や講演会については、内容の見直しを図り、より多くの方が参加できるように工夫しているが、特に、講座については男性の参加を促すことに力を入れ、親子で参加できるものを増やした。また、ワークショップを積極的に取り入れた講座を開催する。

4 公民館まつりについて

公民館まつりにおける東日本チャリティーイベントについて事業係担当者より説明

公民館と市民が被災地復興という共通の目標に協力して取り組むイベントとする。市民に直接提案し、協力が得られる施設において実行する。準備期間を含めて賛同者や協力者を地道に増やし、地域の新たな連携を促すことを目的とする。平成 23 年 4 月 26 日現在、花小金井南公民館、上宿公民館の実行委員会

と実施の方向で調整中である。

(質疑応答)

委員 利用者から震災に伴う休館について、なぜ休館にするのかと聞かれ、説明に窮した。休館中の職員の応援態勢などは評価すべきだが、公民館は利用してもらうことが非常に重要である。市民へのサービスという観点から、今後話し合っ
て いただきたい。

事務局 委員の言う通り、今回の休館は、節電及び全庁的な応援体制によるものという
ことで、議論した結果である。

会長 公民館だよりなど、広報誌でスペースがあれば、経過を掲載していただきたい。

事務局 2,000 人を超す市内災害時要援護者を一軒一軒訪問した。

委員 公民館まつりでのチャリティーイベントの提案があつたが、公民館まつりは利
用者懇談会が自主的にやるものだとして理解していた。チャリティーには賛成だが、
上から考え方を押し付けるようなことにならないよう注意していただきたい。

事務局 あくまで市民の前向きに取り組む姿勢を確認した上で協力させてもらっている。
考え方を押し付けるのではなく、利用者の活動の発表の場を確保したい。

会長 公民館が利用できないと、高齢者が多いようなところはサークルとして成り立
たなくなるところもある。丁寧な対応をしていただきよかった。その時の反応
などはあるか。

事務局 当初は問い合わせが多かったが、ある時期を過ぎると、早く開館してほしいと
いう要望が多く聞かれた。市民にとって公民館が非常に重要な、なくてはなら
ないものであることをそういったやり取りの中で感じた。心配もあるが、公民
館まつり等のイベントで公民館をさらに発展させたい。

委員 公民館の開館、閉館は誰が決めるのか。主たる目的は節電か。

事務局 今回は施設全体を閉館するというのを、市として判断した。応援体制の
ために閉館した。

5 平成 23 年度定期講座について〈各館の詳細〉

資料 4-2 により説明

この他、社会福祉協議会と連携して「東日本大震災復興支援ボランティア講座」を計画している。被災地支援やボランティア活動についての意見交換を考えている。

(質疑応答)

委員 パソコン講座はどのような内容か。終了するまでに市のホームページの有益な情報を自分で見ることができるような指導をしてほしい。外郭団体と連携し、市民や困っている人にヒットするような講座にしてほしい。

会長 先日の計画停電の情報も見ることができない人が多かったのでは。パソコン講座でぜひ、ホームページの見方を教えてほしい。

委員 それに関連して、防災メールマガジンの配信は好評だった。

事務局 昨年からメールマガジンを始め、震災を契機に登録数がかなり増えた。公民館の情報を受け取っている委員もいると思うが、携帯電話で簡単に登録できるので普及に協力をお願いしたい。

委員 市のホームページからメールマガジンにはいけないのか。

事務局 現段階では、やや手続きが多い。

委員 興味深い講座を多くやってもらっている。さまざまな状況があり、なかなか人が集まらなかったことは理解できる。人を集める方策などがあったら教えてほしい。

事務局 ホームページを見ていただきたい。いつどんな講座をやるのかということが一目見て分かるように、これから努力工夫したい。応募が少ないものについては追加募集の情報も載せていくようにする。

委員 それだと自分に関係のない講座はわからない。獲得したい世代の市民をどのよ

うに獲得するのか。枠をどのように埋めるのか。

事務局 ホームページの工夫を行っていくが、ホームページをご覧になれない方もいるので、ターゲットを絞ってチラシの配布も考えている。子どもの関係のものは学校で配布するというような策をとっている。

委員 委員もぜひ協力したい。

6 仲町公民館・図書館改築に伴う基本設計の説明会について
資料 5-1、5-2 により説明

住民説明会においていただいた意見、要望をまとめ、今回の基本設計にどのように反映されたかを説明した。昨年度の最後の第7回の審議会とほぼ同様のものが説明会でも報告された。

(質疑応答)

委員 耐震についてはどうなっているのか。

事務局 震災の影響もあり、業者からは十分対応しているという説明があった。具体的な耐震設計についてはこれからになり、基本設計については基準を考慮した設計になっている。

会長 ガラスの飛び散りについては心配だった。ガラス面の強度は十分注意していただいて、構造のことはよく研究していただきたい。

委員 現在の建築基準法は神戸でも大丈夫だった。今回また新たな基準ができるかもしれないが、とりあえずは大丈夫だと言えるのではないかと。

事務局 当然耐震基準は満たしているが、法律に従っていかなければならない。今回の震災を受けて注意するところは注意して、利用者と設定を進めてきた。

会長 大体コンセプトは決まっていると思うが、高齢者や小さな子どものいる母親のためにも、一度受付してまた外へ出るということを考えると、利用者の利便性にも配慮していただけるとありがたい。

7 平成 23 年度公民館運営審議会日程について

資料 6 より説明

8 平成 23 年度東京都公民館連絡協議会定期総会の出席について（報告）

資料 7 より説明

開催日時 平成 23 年 4 月 20 日（水） 午後 2 時～

開催場所 昭島市公民館 1 階ホール

報告事項 ・会長市は町田市、委員部会長市（例年会長市）は国分寺市となった。
・研究大会の会場は東京都立多摩社会教育会館（立川市）となった。
・稲城市と多摩市が今年度より脱退した。
・分担金が各市一律 20,000 円となった。

公民館を取り巻く環境は大変厳しい状況だが、他市との情報交換ができ大変有意義な協議会であった。あり方検討委員会ではメリットがないから加盟しないという声も聞かれたが、工夫できるところは工夫して今後とも発展させていきたい。

第 11 回委員部会運営委員会

開催日時 平成 23 年 3 月 11 日（金）

開催場所 昭島市公民館 3 階第 2 会議室

報告事項 ・第 3 回研修会の反省
・4 月総会議案書について

9 平成 23 年度東京都公民館連絡協議会 第 1 回運営委員会の出席について

開催日時 平成 23 年 5 月 27 日（金） 午後 2 時～

開催場所 国分寺市恋ヶ窪公民館

出席委員 橋本 隆 副会長

10 第 52 回関東甲信越静公民館研究大会茨城大会

開催日時 平成 23 年 8 月 25 日（木）～26 日（金）

開催市 茨城県水戸市（予定）

次回は、5 月 24 日（火）13：30 から開催する。